

看護連盟 いばらき

第 50 号

2021 年 1 月 15 日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
info@ibaraki-kangorenmei.jp



目次

新年あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
自由民主党総裁より表彰を受けました・2019年度「現場の声」活用促進委員会報告 看護管理者に対する「現場の声」聞き取り調査結果報告	4
オンライン研修はじまる・2020年度研修会報告	5
関東甲信越ブロック看護管理者等政策セミナー・2020年度青年部全国代表者会議報告 ..	6
令和2年度政務調査会「保健福祉医療部会」県政要望（中間報告） 第5弾 茨城県看護連盟・茨城県看護協会が緊急要望！！	7
2020年度茨城県看護連盟支部紹介～茨城県看護連盟初の支部編成がありました！！～ ..	8・9
編集後記	10

2020年度会員数
(R2.12)

5,049名



新年あいさつ

茨城県看護連盟会長あいさつ



国難と一緒に乗りきりましょう！！ 茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

医療現場で身を粉にして国民の命を守っている会員・看護職の皆さまに心より感謝申し上げます。

本会と県看護協会は、昨年11月から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症が医療・看護の現場に与える影響について実態調査を実施して、12月14付けで自民党県連会長（梶山弘志会長）宛に提出し県知事へ緊急要望として届けていただきました。看護の現場では、長期にわたるコロナ対応が続いているため極度の緊張感、不安によりメンタルケアが必要になってきています。また、離職者の急増により看護師不足に拍車に係り患者の命を守る活動が危機的状況に陥らないように行政、議員の皆さまに早急な支援策を実現していただくようお願いしております。

本会の活動については、9月以降、研修会はコロナ予防対策としてZoomによるオンライン研修を実施したところ参加者が昨年度の集合研修を大きく上回り大変好評をいただいております。今後は、役員会等におきましても会員の皆さんの健康の安全を確保する観点からもウエブ会議を有効活用して参りたいと思います。皆さんと共に、1日も早いコロナの終息を願ってこの国難を乗りきってまいりましょう。

日本看護連盟会長あいさつ



あけましておめでとうございます。 日本看護連盟 会長 大島 敏子

昨年はCOVID-19の感染に終始した1年でした。臨床の皆様には、それぞれの立場で、最善を尽くしてきて頂いた1年であり、心からの敬意と感謝を送ります。戦いは終わったわけではありませんが、もう一息です。国民と共に頑張りましょう。

連盟の昨年の課題は、令和の地域包括ケアシステムに合わせたスローガンの変更とPR動画やポスターの作成、広報ツールの見直しとブロックセミナーを協会長参加で開催すること、そして戦略会議を各県ごとからブロック開催することでした。以上は確実に実現できましたが、第26回参議院選挙の候補予定者の推薦については、委員会規約を見直し、今年の総会で承認いただく予定です。

丑年の今年は、大地に足を下ろし、協会が連盟をつくってきた60年前に戻り、「看護は一つ」の合言葉の下に、連盟活動を原点回帰の1年にしたいと考えます。本年も宜しくお願い致します。

茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、協会の運営にご支援いただきまして大変ありがとうございました。

さて、昨年はナイチンゲール生誕200年の節目の年でした。折しも新型コロナウイルス感染症に見舞われ、献身的な看護がクローズアップされました。しかしその反面、過酷な環境下での業務や風評被害等も明らかになり、今まで見過ごされていたことが課題となって社会に示されました。災害等の予想を超えた事象においても人々を健康被害から守り、自身の健康も維持しなくてはなりません。このように医療における看護の労働環境はまだまだ課題があります。労働に見合った賃金や、働く環境等の整備を引き続き進めていかなくてはなりません。看護協会は今年も重点政策としてこれらに関連する事業を計画しています。

本年も茨城県看護連盟と連携し、看護職の結集を推し進めることで看護の政策実現を図って参ります。結びに茨城県看護連盟会長及び役員、会員の皆様のご多幸を記念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

看護職議員活動報告



新年によせて

衆議院議員 あべ 俊子

新年明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶させていただきます。

貴県看護連盟の皆様には、新型コロナウイルスとの闘いの最前線で、国民のいのち・くらしをお守りいただいていることに、心より感謝申し上げます。

去年は、こうした皆さまのご尽力に対し、十分でないながらも、慰労金や助成金の形での支援を実現すべく、関係各所との協議に奔走した一年でございました。

また、現場では、新型コロナ患者への対応だけでなく、人材確保や、清掃業務など、平時とは違う業務が皆さまの大きな負担になっているかと拝察します。12月末の『新型コロナウイルス対策本部』にて、新型コロナ対応の医療機関へ派遣される看護師への支援額を倍増（約5,500円の補助）すること、看護業務の負担となっているリネン清掃などの民間業者委託を促す経費の支援を決定したところでございます。

いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場からの声でございます。臨床、教育、行政の現場よりご意見いただき、Withコロナ時代を皆さまと進んで参りたいと存じます。



自民党文部科学部会長 参議院議員 たかがい 恵美子

謹んで初春のお慶びを申し上げます。茨城県看護連盟の皆様には日頃より大変お世話になっております。看護職の皆様並びにご家族の皆様におかれては、昨年来の感染症有事への対応等、公私ともに大変なご負担をおかけしております。厳しい自制と自粛を続けながら、いのちの最前線で国民の生命と暮らしをお守りいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。昨秋より政調副会長として、主に厚生労働及び文教科学スポーツ分野の政策を担当するとともに、新型コロナ対策本部副本部長として現下の感染症有事対策とガバナンス態勢の構築に携わり、また行政改革推進本部役員として菅政権が進める規制緩和とデジタル化推進に関する与党の政策提言とりまとめに関わらせていただいております。人々に幸せを運ぶ看護職の笑顔を守り、一人ひとりが十分に役割を発揮できる環境を実現すべく、本年も鋭意努力して参ります。皆様にとって、いのち輝く健やかな年でありますようご祈念申し上げます。



女性医学学会シンポジウムに登壇



参議院議員 石田 まさひろ

茨城県看護連盟のみなさま、苦難と不安の2020年が過ぎ、新たな年を迎えました。しかし年末年始、多くの方がご家族やご親族と一堂に会せなかったことと拝察いたします。それどころか、職場で年を明かした方もいらっしゃることでしょう。新型コロナウイルスは世界を混乱に陥れ、なおかつ看護の現場を直撃しました。いつ感染するかもしれないという緊張感、感染してしまった時の家族への痛みの予感、ぎりぎりの人員のやりくりなど、皆様のご苦労を数え上げたらきりがありません。茨城県の医療・介護は皆様の献身的なご尽力に支えられ、機能しています。心から感謝申し上げます。そして病院の経営不振などから処遇が悪化している方もいる中、看護職全体の処遇改善にさらに力をいれていきます。

また昨年9月に、参議院において厚生労働委員会筆頭理事と参議院自民党国会対策委員会の副委員長を拝命しました。気を引き締めて責務を全うしていきます。

看護師の国会議員として私も、皆様が笑顔で「今日もいい看護ができた」と言っただけのよう必死で働きます。

念頭に当たりお約束申し上げます。



2020年12月3日
厚生労働委員会質問



衆議院議員 木村 やよい

コロナ禍で大変な思いをして頑張っておられる全ての看護職の仲間たちに、心からのエールと新年のご挨拶申し上げます。

第203回臨時国会では、厚生労働委員会で予防接種法改正などが成立。私も、厚生委員会と消費者問題に関する特別委員会で質問、総務委員会では郵便法改正案の賛成討論などをいたしました。

昨年6月の第2次補正予算では、慰労金として看護職への直接手当が実現しました。これを特例にせず、超少子高齢社会の医療提供体制のキーパーソンである看護職のモチベーションの維持のためにも、看護の専門性が正しく評価されるよう、引き続き発信してまいります。

また、11/20の厚生委員会で質問した保健所の機能強化について、総務省は2021年度からの2年間で約900人増員するため、自治体の財政支援をすると公表しました。

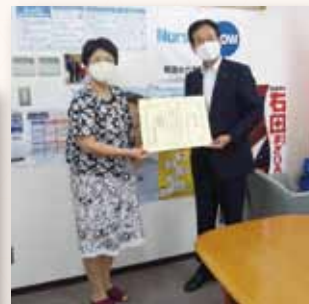
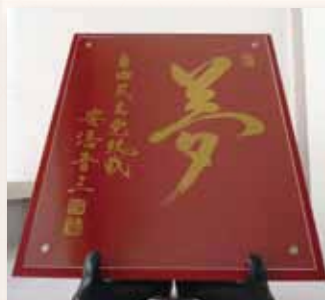
これからも、看護職が疲弊せず生き生きと働き続けられる環境づくりに、力を尽くしてまいります。

コロナを機に、便利になったと実感できる日本へ。

看護師・保健師出身の国会議員として、皆さまの健康を守りぬけるようがんばります。11月20日厚生労働委員会質問



自由民主党総裁より表彰を受けました



7月27日、第87回自由民主党大会において、「茨城県看護連盟支部」が、党勢拡大に尽力した功績を讃えられ、茨城県連より推薦され、優秀党組織として自由民主党安倍晋三総裁より表彰を受けました。

授与は、県連第1支部長田所よしのり代議士より表彰状と記念品の伝達が行われました。今後も、党勢拡大に努めてまいります。

2019年度「現場の声」活用促進委員会報告 看護管理者に対する「現場の声」聞き取り調査結果報告



ひたち医療センター 看護部長 須藤 礼子

会員の多くが勤務している中小規模病院（200床以下）は、全国で80%を占めるが、これまで現場の問題等について具体的に調査等が実施されていなかった。今回、全国414施設（茨城県5施設）中小規模病院の看護管理者を対象に、現場の問題と課題等の聞き取り調査が実施され参加することができた。

調査の結果、一番困っていることについては、①人員確保の問題、②人材育成問題、③看護管理問題、④看護補助者問題の順であった。その中で、「離職率が高いと言われるが、子育て支援策や働きやすい勤務体制などの対策が功を奏して高いわけではない」「夜勤者不足、職員の高齢化などが人員不足を複雑化している」「看護学生の多くは、急性期病棟を志望するために、新卒者が集まりにくく、世代交代が進みにくい」「人員確保のために有料の紹介会社を利用しているところが少なくなく、経費負担は施設にとり経営や看護部の予算を圧迫する問題になっている」「子育て世代は産休・育児休暇の取得が進んでいるが、高齢層は親の介護休暇制度の導入が十分でない」などであった。

今回の調査は具体的であり人員確保、人材育成など大変参考となった。



土浦協同病院 なめがた地域医療センター 看護部長 鳥畑 好江

当院は、茨城県厚生連を設置主体として2000年6月に開院された公的病院です。聞き取り調査結果報告では、「卒後研修」において、クリニカルラダーによるレベル別教育から全看護職員対象の共通研修・選択研修と幅広い視野で教育の充実を図っています。また、「働きやすい職場づくり」においては、主に時間外削減に向けた業務改善、職場環境の改善やハラスメント対策などに取り組んでいます。しかし「困っていること」においては、鹿行地域は医師不足が深刻な状況であるため、看護師が医師の負担軽減を図るためにサポート業務に入り、看護の原点である「患者さんの声に耳を傾け寄り添った看護」に専念できない現状にあります。今後、少子高齢化が加速し独居世帯や老老介護世帯が増加する中で、在宅医療や予防医療の充実など地域住民が看護職に寄せる期待もさらに増大すると考えます。そのため、この地域の看護師が専門職としての役割を発揮し日々成長できるよう、看護管理者は課題解決に向けて取り組んでいく必要があります。



オンライン研修はじまる

茨城県看護連盟では、コロナ禍により9月から集中的にオンライン研修会に取り組み、今後もオンライン研修を継続して行うことになります。

オンライン研修に参加した会員の皆様からは、「今までは現場に行かなければ聴講出来なかったが、いつでもどこでも参加出来るのでとても良い。」「これからも継続して欲しい。」「オンライン研修会に参加するのは初めてであったが、個人講義を受けているように集中して聴講する事が出来た。」「感染予防という観点からオンラインで研修を受けられるのはとても良い。」など、好評の声が多く聴かれました。

一人でも多くの会員皆様の参加をお待ちしております。



2020年度研修会報告

演題：「患者のもてる力」～5つのものさしを使った看護の実践～

令和2年9月26日(土)

講師：ナイチンゲール看護研究所所長 徳島文理大学院看護学研究科 教授 金井 一薫 先生



JAとりで総合医療センター 小林 美智江

「患者のもてる力」これを探る視点と弱みを強みに変える視点が大切で、視点の変換次第で困り事もプラスになるのだと改めて認識しました。

ナイチンゲールから受け継がれたケアのものさしの話を聞き、再度「看護覚書き」を読み返し、今でもなお新鮮な気づきの多い内容にあらためて驚きました。実践してきた看護は正しかったのか、このものさしで自分の看護の考え方を振り返ると、持てる力・健康な力を活用し高める援助に、傾いていた自分に気づきました。

コロナ禍において、看護師の置かれている立場・働く環境は決して良いものではありません。しかし仲間たちは、普段より準備に手間が増え時間がかかりますが「患者にとって必要だから」と頑張っています。この力の源は、各人に受け継がれた看護の精神であったかと気づかされ胸が熱くなりました。

今まさに看護の基本に立ち返り、働く仲間への感謝の思いを強くしました。今後の看護に繋げていきたいと思います。

演題：「コミュニケーションの活性化」～キャリアの諸理論と傾聴～

令和2年10月17日(土)

講師：キャリアコンダクト株式会社 キャリアコンサルタント 産業カウンセラー 代表取締役 須藤 昭彦 先生



水戸済生会総合病院 美野輪 由実子

今回の研修の中で「セルフ・コンパッション（自分への思いやり）」という言葉がとても印象に残りました。人との関係の中での思いやりや慈しみの心は大切なもので、それと同じように自分自身に思いやりや慈しみを与えることも大切であるというものです。自分にとって困難な状況を良い悪いと判断することなく受け入れ、その体験が他の人たちと共通していることを認識することで、次のステップへの動機づけとなります。また、セルフ・コンパッションを高めることで他者との関係性を構築し、良好なコミュニケーションへと導いてくれます。他にも、習慣化することで問題解決していく手法やナラティブ・アプローチなど、医療現場における指導や子育てなどに活用できる手法を教えてくださいました。

須藤先生の「分の1ゆらぎの声と優しい笑顔に癒され、悩んでいることも「これでいいんだ」と勇気づけられました。「明日からまた頑張ろう」と元気をもらえる研修でした。

演題：「看護職のストレスマネジメント」～自分を見捨てないコミュニケーション～

講師：江戸川大学メディアコミュニケーション学部 教授 隈本 邦彦 先生

令和2年11月14日(土)



友愛記念病院 榎山 裕保

今回の研修を受講し看護職者として求められる役割を再考し、看護師にしか出来ない役割の大きさを考えることが出来た。そしてその役割を達成するために自身の心身をケアし、より良い状態で患者様に向き合うことが重要であることに気づくことができた。

実際に看護師として働き始めることで、その業務内容の幅広さとスピード感、責任の大きさの実際を目の当たりにし学生時代イメージとのギャップに驚くことが多くあった。入院生活のあらゆる局面に対し気を配り、危険性はないかそのケアは適しているのか患者様はどう考えているのかなどなど、多くのことに考えを張り巡らせ、さらに治療が円滑に進むよう準備をし、患者様を観察して、他職種と連携を行っている。ベッドサイドにいる専門知識を持った者という看護師だけの大きな価値・役割がある。それら多くの業務に向き合う必要があることや職場内の人間関係の中でストレスを抱え込みやすい。自らの心のセルフケアを行うことが患者様に良い看護を提供するためにとっても重要であると学ぶことができた。

今回の学びを生かし、看護師にしか出来ないことを意識しながら、患者様も自分自身も大切にしながら業務に臨めるよう工夫を続けていきたいと感じた。

また本研修はOnlineでの研修であったが、心身の負担が少なく、しかし対面での研修と同じような集中した環境で受講することができとても良い研修であったと感じた。今後もこのような機会があればぜひ参加したいと感じた。



関東甲信越ブロック看護管理者等政策セミナー

開催日：令和2年9月18日・19日（金・土）

公益社団法人茨城県看護協会 常任理事 須藤 礼子

2020年度関東甲信越看護管理者等政策セミナーを受講しました。参加者は関東甲信越看護連盟会長、看護協会会長、看護部長会代表、看護教育者代表、看護連盟役員など約50名でした。当県からは5名の参加者でした。

セミナーの目的は看護管理者・看護教育者等として看護を取り巻く諸問題の共通理解、看護政策の提言と実現に向けた取り組みや方策の理解でした。

日本看護連盟大島敏子会長からは、看護政策実現のための日本看護協会・日本看護連盟との連携や新型コロナウイルス感染症に関する国への要望や活動の報告がありました。また、医療福祉大学大学院の島崎謙治先生からは「コロナ禍の医療政策」、神奈川県藤沢市民病院副院長阿南英明先生からは「クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号対応の実際とその経験から得られた課題と施策」と「神奈川県のコロナ対策のポイント」について講演がありました。

今年度はコロナ禍におけるセミナーのため、オンラインでの開催でしたが、映像と音声、そしてチャットのやり取りで、対面と同等のクオリティでセミナーが進行できていたと感じました。



城西病院 看護部長 青木 由美

9月18、19日の2日間に亘り、2020年度関東甲信越ブロック看護管理者政策セミナーに参加させていただきました。初めてのオンラインセミナーでしたが、大変勉強になりました。両日とも新型コロナウイルス感染症に関するテーマが取り上げられ、1日目の島崎謙治先生からは、今後の医療提供体制について長期戦を覚悟せざるを得ない。医療と社会経済活動の両立の難しさを話されていました。新しい生活様式を受け入れ、前向きな姿勢を見失わずに過ごしていきたいと感じました。2日目の阿南英明先生からは「コロナウイルスとの戦いから共生への転換～看護のあり方は何が変わるのか～」というテーマで、ダイヤモンドプリンセス号でのクラスター発生状況、対応策、情報が無い中での入院患者の受け入れ体制など貴重な経験談を聞くことができました。神奈川モデル、C-CATの存在から初期対応の重要性を知り、日頃から想定外のリスクを考えていく必要があると感じました。この学びを現場に是非、活かしていきたいと思います。



茨城県看護連盟 常任幹事 薄井 成美

看護管理者・看護教育者等として、看護を取り巻く諸問題を、共通理解する事と、看護政策の提言と、実現に向けた取り組みや方策を理解するを目的にした研修に参加しました。現在、新型コロナの影響を問題とした「コロナ禍と医療政策」の講演では、クルーズ船での新型コロナ感染症患者の初期対応を知る機会になりました。

初めて経験する新型コロナウイルス感染症患者対応に関して、都道府県間での差が大きな課題になり、情報を共有することが大変でいかに緊急時への迅速かつ柔軟に切り替えられることができるかが重要であると述べていました。

情報の見える化、緊急対応の訓練、人材確保・教育を日頃から充実していくが、より大きな課題であることを再確認できました。

「国会に看護職が、いなければならぬのか」講義で、政策に看護現場の声を届けるために、そして安心して働ける職場をつくるため、安全で質の高い看護の提供に向けた取り組みを、実践していけるようにしていくことがより重要であることを、痛感させられました。今後、ますます現場の生の情報を聞き、伝えられるようにしていきたいです。



2020年度青年部全国代表者会議報告

開催日：令和2年10月17日（土）



青年部委員長 中島 邦夫（水戸中央病院）

10月17日 青年部全国代表者会議が、ZOOMを使用したON-LINE会議で開催された。主な内容は、1. 石田まさひろ議員によるコロナ禍の医療政策 2. コロナ禍での青年部活性化委員会の活動報告 3. コロナ禍での各都道府県看護連盟青年部の活躍報告である。

まず、石田議員からは、コロナ禍における政府の取り組みや慰労金の説明があり、その後コロナ禍だからこそ可能となったこのON-LINE会議の素晴らしさを話された。時間、お金をかけることなく全国何処でも誰とでも話することができるようになったのは、ある意味このコロナがあったからではないかと。また今後新たに発生するであろう感染症に対して学習する機会が得られたと。このコロナ禍の状況を前向きに捉えて話されていた。

その他として、各都道府県のコロナ禍における施設での状況報告では、陽性者受け入れにて差別を受けた、風評被害を受けた、帰宅しづらい、いつ感染するか不安、家族に感染させたらどうしようという不安が常にある、など何処でも同じ不安、心配を抱えながら仕事にあたっているという現場の声を聞くことができた。また、賃金や手当の差、保健所の業務負担軽減、市町村合併による医療体制の崩壊の危機など、各地域や施設で抱える疑問や不安などを聞くことができ、石田議員も一緒に考えて頂き、有意義な会議であった。

今後も茨城県看護連盟青年部委員長として、会長、支部長の新たな取り組みや活動を積極的に行って参りたいと考えています。

令和2年度政務調査会「保健福祉医療部会」県政要望（中間報告）

いばらき自民党飯塚秋男政調会長から、令和2年11月9日付で本会が提出した県政要望事項に関する県対応状況の中間報告がありましたので、下記に示します。

この中間報告は今回が初めてであり、特徴として対応状況に対する県執行部側の自己評価（○△×）とされています。

令和3年度の予算への反映については、12月定例会時に知事に再度提案し、来春改めて対応状況の報告がある予定です。

各種団体の要望事項に対する県政の対応状況及び評価

○保健福祉医療部会

評価凡例 ○：対応済、△：一部対応及び対応予定、×：対応予定なし

要望事項	要望団体	区分	新規継続	対応状況	県自己評価 ○△×	回答部局
安全な医療を提供するため衛生医療材料の確保と管理【新型コロナ】	茨城県看護連盟	短期	新規	・マスク、ガウン等の不足する医療機関には、在庫調査結果等に基づき供給。 ・国に資材の増産や供給スキームの構築を要望。	○	保健福祉部
感染症指定病院以外の病院への一律の危険手当等の支給【新型コロナ】	茨城県看護連盟	短期	新規	・臨時的な取り扱いとして、危険手当見合いで診療報酬が上乗せされており、継続を国に要望。	△	保健福祉部
PCR検査の医療従事者への優先的な実施【新型コロナ】	茨城県看護連盟	短期	新規	・院内感染リスクを可能な限り低減するため、医療従事者は優先的にPCRを受けられる検査体制とした。	○	保健福祉部
誹謗中傷による離職者への対応【新型コロナ】	茨城県看護連盟	短期	新規	・不当な差別や偏見が生じないよう、県民に対し、様々な媒体を活用して、正しい知識の普及と人権尊重意識の啓発に取り組む。	△	保健福祉部
感染対策を講じた老健施設における「在宅復帰、在宅療養支援等の指標」等の算定要件への配慮（国への要望）	茨城県看護連盟	短期	新規	・老健施設の状況等を踏まえて、必要に応じ国に算定要件の取り扱い等を要望。	○	保健福祉部
看護職員の計画的な確保対策	茨城県看護連盟	短期	継続	・看護職員の養成、定着、再就業の促進、質の向上を総合的に展開し、看護職員の確保に努める。 ・県看護協会への魅力ある職場づくり事業の委託等により離職防止を支援する。	△	保健福祉部
緊急事態でも安心して働けるように保育所や学童施設の利用、院内保育所の開設・運営への支援	茨城県看護連盟	中長期	継続	・緊急事態下においても、保育所や学童施設の利用できるよう要請する。 ・院内保育所の整備補助や施設を設置する病院への保育士等の人件費の助成により支援する。	○	保健福祉部
介護保険認定の速やかな判定	茨城県看護連盟	中長期	継続	・要介護認定は原則として申請から30日以内に行われ、その効力は申請日に遡るため結果が出るまでの間もサービスを受けることが可能。 ・市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取組の推進など、包括的なサービスの提供体制の構築を支援する。	○	保健福祉部
地域包括ケア病棟の施設基準の見直し（13対1→10対1）	茨城県看護連盟	中長期	新規	・診療報酬改定に伴う施設基準の見直しについて、国の動向を注視する。	△	保健福祉部
公的病院等の感染症対応の役割の明確化と早急な体制整備【新型コロナ】	茨城県看護連盟	県政全般	新規	・県新型コロナウイルス感染症対策協議会において、県内の医療提供体制を協議し、公的病院の役割の明確化や即応できる体制整備を進める。	×	保健福祉部
段階的な定年延長と給与制度の改善の参考となる指針の提示	茨城県看護連盟	県政全般	新規	・ナースバンク事業において、概ね55歳以上の看護職員を対象にセカンドキャリア支援研修を実施し、プラチナナースの活用を支援する。	△	保健福祉部
県全体の救急体制の整備（特に小児科医が不足する神栖・鹿嶋地域の小児医療体制）	茨城県看護連盟	県政全般	継続	・医師確保計画（令和2～5年度）に基づき、地域枠等による医師の養成・定着に取り組むほか、地域医療対策協議会を活用した医師配置調整スキームにより、小児・周産期・救急等の政策医療を担う地域の中核的な医療機関の医師確保に取り組んでいる。 ・最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科として5医療機関16名を選定し、13.1名を確保している。 ・神栖済生会病院の24時間365日の小児救急体制の運営を支援する。	△	保健福祉部
河川の整備	茨城県看護連盟	県政全般	新規	・概ね10年に一度程度発生する洪水に対応するため、堤防整備や河道掘削などの河川改修を計画的に進める。	○	土木部
県の魅力度アップへの取り組み	茨城県看護連盟	県政全般	新規	・県総合計画において「魅力度No1プロジェクト」を掲げ戦略的な情報発信を行っており、各種メディアを効果・効率的に活用し、国内外に向けて本県の魅力やすばらしさを積極的に発信する。	○	営業戦略部

第5弾 茨城県看護連盟・茨城県看護協会が緊急要望!!

茨城県看護連盟と公益社団法人茨城県看護協会は、入会施設の看護部長、支部長、地区意見交換会での意見をとりまとめ、新型コロナウイルス感染症が医療・看護現場にどのような影響を及ぼしているか、緊急実態調査を実施しました。

結果をとりまとめ、12月14日（月）付で、両会長名で自民党茨城県連桐山会長あてに提出し、県知事へ届けていただきました。

要望内容については、茨城県看護連盟ホームページに掲載しましたので、ご覧ください。

2020年度茨城県看護連盟支部紹介 ～茨城

今年度はコロナ禍において、各支部長さん達は感染対策を行いながら活動しております。



県北第1支部 菊池 美智子

コロナ禍の中、昨年は多くの御支援をありがとうございます。まだまだ続く感染拡大、医療従事者の並ならぬ頑張りはひしひしと感じる日々です。例年の様な活動ができないなかオンライン研修や会議など状況に合わせた連盟活動を今後も継続していく事になると感じます。その中で支部活動をどう展開するか連盟離れをおこさない、今こそ連盟のあり方を会員1人ひとりが意識を高めていく為に耳を傾いていきたいです。

本年度もコロナ禍の中、不自由ではありますが今こそ連盟一丸となって頑張っていきたいです。



水戸第2支部 木島 照美

新年あけましておめでとうございます。昨年は3密の回避のため、なかなか連盟活動が出来ませんでした。

今年度は看護にかかわる様々な政策を具体的に学び、制度への深い理解や強い意思、あきらめない心や行動する勇氣を持ち、看護の素晴らしさを発揮できる看護現場を作りあげていきたいと思っています。その為に、共に働く連盟会員一人ひとりの声を聞き、共に活発な活動を実践できるよう努力していきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



県西支部 上野 敏子

昨年は、コロナ禍で大変な1年でした。茨城県看護連盟も60周年を過ぎ今の制度を作って下さった先輩諸氏、先生方にお世話になり現在があります。選挙は棄権しない・させないことが大切です。次期参議院選挙に向けてさらなる応援、楽しい看護連盟活動を展開して頑張りましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



結城支部 山中 久美子

新年明けましておめでとうございます。

連盟活動を行うにあたり、連盟活動とは何をすれば良いのか分からず、戸惑いながらも少しずつ分かってきたところです。昨年の4月から結城支部の支部長を引き受けましたが、コロナ禍の中、支部研修などの活動が十分に行えていないのが現状です。今年は支部の研修内容を見直し、若い看護師達にも連盟を身近に感じられ、連盟活動に理解を深めて頂けるような研修内容にしていきたいと思っています。



つくば支部 別所 早美

謹んで新年のご挨拶をさせていただきます。

2020年の幕が開けた時に、オリンピック開催への期待やナイチンゲール生誕200年の喜ばしい出来事へ胸を弾ませていました。まさか、新型コロナウイルス感染がここまで世界的パンデミックになるとは予想していませんでした。

いわゆる「コロナ禍」において、私たちの生活も変化しました。支部長を拝命してから、この一年は連盟の活動らしい活動は行えませんでした。「コロナ禍」で得た状況の変化に対応していくノウハウを活かしながら、2021年度は看護職が社会に、政治に目を向けられるよう支部としての活動を活発化していきたいと考えます。



古河支部 金田 まり子

茨城県看護連盟の皆様におかれましては、未曾有で経験の無い新年をお迎えのことと存じます。本来なら新年明けましておめでとうございますが、なかなか心の底から明るい気持ちにはなれません。今このときも看護職は現場で頑張っています。大変な状況下において身体的・精神的に多大な負担があると推察されます。看護師の頑張る思いに少しでも報いる事が出来ます様、今後の状況を鑑みつつ支部活動を行って参りたいと思います。



土浦支部 宮本 三千代

年始のご挨拶を申し上げます。昨年は、誰もが経験したことのない状況下で過ごし、COVID-19対応と地域医療を守るために尽力頂いた医療看護スタッフの方々、本当にお疲れ様でした。土浦支部においても厳しい環境の中、919名の会員のご協力で、連盟活動を進めてまいりました。今年も柔軟に対応し、組織力の強化に努めていきたいと思っています。そして一日も早い収束をお祈り申し上げます。



県南第3支部 草間 由起子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナ禍で研修や様々な行事がなくなり、デジタルシフトする等、生活スタイルが大きく変化した年でした。新年となっても、新型コロナウイルス感染者数増加、重症患者の増加が予測されています。その為、医療の変化に立ち向かい戦っている私達仲間の笑顔を守り、県民の健康を看護力で守る必要があります。看護連盟の支部長として看護の代表を国政に送る使命を会員に理解してもらい、ひとりでも多くの仲間を増やす活動を行うことが必須なので、力を合わせていきたいと思っています。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



県南第4支部

林 かおる

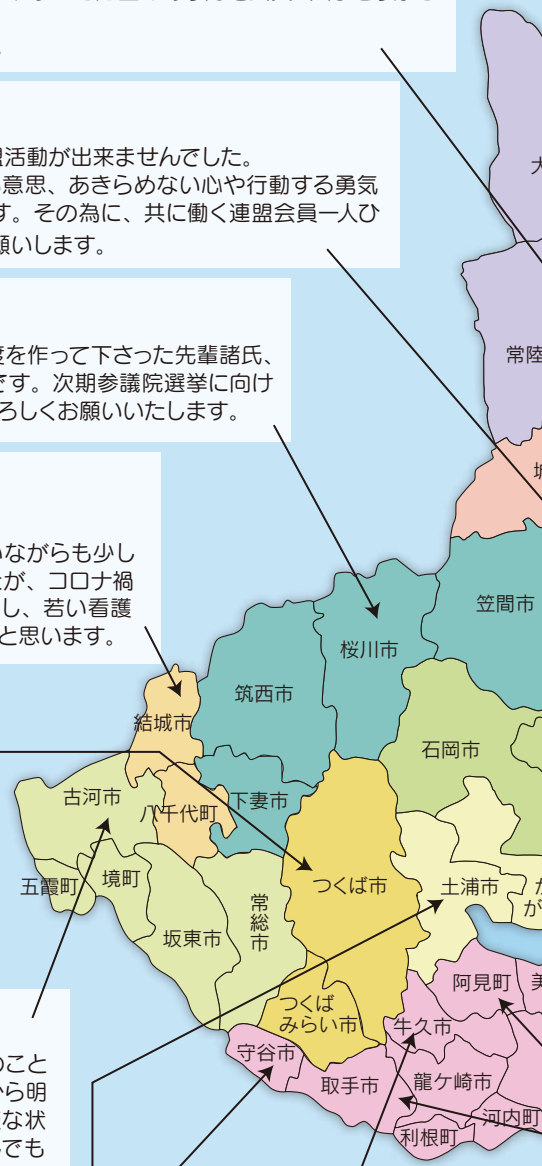
新年あけましておめでとうございます。

昨年はすべての医療機関がコロナウイルス対応で、日々多忙に追われました。

そのような私たちをさまざまな形で、ご支援いただきとても感謝しております。

今年は、コロナウイルスに負けることなく新支部としてICTを活用するなどし、施設間連携を強化する一年にしたいと思っています。

「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」を忘れず、活発な活動ができるよう努力してまいります。



県看護連盟初の支部編成がありました!!～



OB会支部 酒寄 マサ

新年おめでとうございます。又、連盟いばらき第50号発刊重ねてお祝い申し上げます。一口に50号といっても長年編集担当の方々には大変なご苦労があった事でしょう。感謝致します。内容も各号毎に多種多彩となり心惹かれます。本部・県の動向もよく分かり、特に各支部の活動や若い会員の方々のトピックス等読み応えのある内容で楽しく拝読しております。新型コロナ禍では多くの仲間がご苦労されており、早期の収束を祈りつつ次期選挙に向けOB会も持てる力で頑張ります。「連盟いばらき」が更に楽しい広報誌となることを希望致します。本年もよろしくお願い致します。



県北第2支部 三浦 由貴子

謹賀新年、明けましておめでとうございます。
 昨年は本当に言葉の力を痛感した年でした。新型コロナウイルス感染症対策・対応で、体力も精神も疲弊しながら使命感で働く医療従事者に向けられた誹謗中傷の言葉に、心がへし折られました。
 逆に、感謝と配慮のある言葉は、支え合って生きるという心に明るい光を灯し、「くじけずに頑張ろう!」とすることができました。
 今年の抱負は、感謝と配慮ある言動で支え合おうです。よろしくお願い致します。



水戸第1支部 石浜 みち子

明けましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大が進み、医療の最前線におられる皆様は緊張を強いられる1年であったと思います。看護職を必要とする社会の高まりエールを感じた年でもありました。本年はコロナに対するワクチンの供給、オリンピックの開催など明るい希望も見えています。今こそコロナに負けず「看護の心を1つに」を合言葉に看護の力を結集し医療を守っていきましょう。



水戸第3支部 前嶋 由起子

新年明けましておめでとうございます。
 丑年は、子年にまいた種が芽を出して成長する時期、先を急がず目の前にあることを着実に進めることが将来の成功につながるかとされています。2020年は新型コロナウイルス感染症で世界は大厄災に見舞われましたが、社会は新しい生活様式を獲得しつつあります。今が辛抱の時と考え、連盟会員の皆様とともに着実に目の前のことに取り組んで一歩ずつ前進することを今年の目標といたしたく、新年のご挨拶とさせていただきます。



水戸第4支部 尾崎 美智子

Nursing now! 看護の力で健康な社会を!
 あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。
 執行部、各支部との連携を深め、会員の自立した組織づくりに努めて、選挙に強い茨城県看護連盟であるために、会員を増やし、楽しく、活気ある支部づくりに努めていきたいと思っています。
 票は力なり、私たちの代表を国会に送る! コロナに負けず、頑張ります!



鹿嶋第1支部 本宮 裕美

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルスの流行で世界全体の動きが変わりました。マスクの着用、医療機関や店頭での検温、ソーシャルディスタンスの徹底、手洗いや消毒等の感染対策も日常での新しい生活スタイルとして定着しています。一方コロナ禍で社会や経済活動に及ぼす影響は深刻で市民は疲弊しています。今年こそは誰もが安心して暮らせるよう看護連盟の一員として出来る限り協力していきたいと思っています。



鹿嶋第2支部 谷川 秀子

新年明けましておめでとうございます。看護連盟60周年記念おめでとうございます。
 私たち看護の代表が国政で活躍しております。そのお陰で、私たちはベッドサイドから、看護の問題を訴えてきました。
 今スローガンも「届けよう看護の声を! 私たちの未来へ」と変わり、私たちが看護連盟の必要性を、未来に伝えていき看護の代表者が国政に増え、活躍の場が動きやすいように、高得点で当選できるよう、みんなで一緒に頑張っていきたいと思います。



県南第2支部 間宮 光子

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、これまでに経験したことのない事態となり、今なお苦しめられています。このような中でも質の高い看護を維持し必死に立ち向かう看護職を誇りに思います。しかし、この状況がいつまで続くのかと疲弊しているのも事実です。私たち看護職の現状を理解していただき、要望を叶えるためにも、まず看護連盟会員数の確保に努め、看護連盟活動を活発にしていこうと思います。
 新しい年になり、新型コロナウイルス感染が収束に向かい平穏な日常に戻ることを願うばかりです。



県南第1支部

日高 晴美

明けまして、おめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新年早々新型コロナウイルス感染症防止対策で大変ご苦労されていると思います。私たちの日常生活も様変わりし、茨城県看護連盟県南第1支部活動もなかなか行えない状況が続いています。コロナ禍であっても何が出来るのか、現状を把握し支部会員の皆様の協力を得て県南第1支部の活動に取り組んでいきたいと思っています。2021年、皆様のご協力よろしくお願い致します。



連盟からのお知らせ

ナーシングナウキャンペーン事業
「地方議員の看護体験」について

県議員、市町村議員等に看護現場の現状と課題に対する理解を深め、県・市政での政策・予算をつける事を目的としている。

各々の地方議員が看護体験を通して、看護職が持つ可能性を見て、聞いて、実感する事により、その地域の保健医療の中で、看護職の持つ力を最大限に発揮できる安全で働きやすい環境作りのために、連携・協働できる仕組み作りにつなげていくことである。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により実施不可能になり、来年(令和3年)6月まで延期となりましたことのお知らせ致します。会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

研修案内

(HPをご覧ください)

2021年1月30日(土) ~オンライン~

演題:「看護の本質を再考する」~未来でも幸せな看護師であり続けるために~

講師:東京医療保健大学東が丘看護学部看護学科
大学院看護学研究科
教授 中島 美津子先生

2021年3月27日(土) ホテルレイクビュー水戸

演題:「健やか寄席」~笑うあなたに福来たる~

講師:古今亭文菊 師匠 神田 山緑 先生

2021年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

日本看護連盟公認キャラクター

みんな集まれ! 楽しいよ!!



レンコ

カンタ

正会員

年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・看護協会会員であること。

特別会員

年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。

賛助会員

年会費 1,000 円
・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。

学生会員

年会費 無料
・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。

皆様のご入会を
お待ちしております。

【お問合せ】 茨城県看護連盟ホームページもご覧ください。 <https://ibaraki-kangorenmei.jp/>

〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL: 029-225-3992 FAX: 029-232-8648 E-mail: info@ibaraki-kangorenmei.jp

東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

良質な睡眠は、健康で充実した
毎日を過ごす基本です!

◆こんな悩みはありませんか? → ◆睡眠セミナーを無料で開催しています

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーを開催し、職場の問題解決のお手伝いをさせていただいております。

* 研修内容及び研修時間はご相談に応じさせていただきます。

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社

〒310-0842 茨城県水戸市けやき台 2-19-2 www.toyoumo.co.jp

茨城営業所 **0120-461590**

セミナーに関するご相談はお気軽にご連絡ください!

新広報委員紹介



幹事 軽部 成美

この度、広報委員会を担当させていただきます、幹事の軽部と申します。広報とは、文字通り、社会に対して知らせることです。「看護連盟いばらき」を通して、社会に向けて情報発信するとともに、会員の皆様が興味を持てるような記事を掲載できるよう努めたいと思います。また、茨城県看護連盟の役割および活動について、広くPRができればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

新しい生活様式には慣れましたでしょうか?

今回は茨城県看護連盟初の支部編成がありました。順次、支部紹介をお届けしたいと思いますので、ご期待下さい♡

(広報委員会)